



## 2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社MFS 上場取引所 東  
 コード番号 196A URL http://www.mortgagefss.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中山田 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 平山 亮 (TEL) 03(5989)0575  
 定時株主総会開催予定日 2024年9月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	1,889	17.5	△110	—	△144	—	△121	—
2023年6月期	1,607	90.6	△139	—	△147	—	△149	—

(注) 包括利益 2024年6月期 △121百万円(—%) 2023年6月期 △149百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	△18.86	—	△7.5	△6.6	△6.3
2023年6月期	△24.72	—	△18.1	△10.3	△11.4

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 一百万円 2023年6月期 一百万円

- (注) 1. 当社は、2024年3月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	2,421	2,060	85.1	227.15
2023年6月期	1,944	1,188	61.1	△891.26

(参考) 自己資本 2024年6月期 2,060百万円 2023年6月期 1,188百万円

- (注) 当社は、2024年3月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	△70	△91	556	1,871
2023年6月期	62	△130	1,050	1,477

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,397	26.8	69	—	59	—	37	—	5.86

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年6月期	9,072,600株	2023年6月期	6,372,600株
② 期末自己株式数	2024年6月期	—株	2023年6月期	—株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	6,446,573株	2023年6月期	6,372,600株

(注) 1. 当社は、2024年3月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

2. 2023年6月期の期末発行済株式数には、A種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、D種優先株式、E種優先株式、F種優先株式及びG種優先株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について

当社は、2024年8月14日(水)に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、過去最高水準の企業収益により設備投資は堅調に推移し、消費は回復の兆しが見えるものの、幅広い物価高と歴史的な円安は持続する見込みで、景気回復は足踏み状態となりました。

このような事業環境の中、当社グループは、売上収益の成長路線を描きつつ、過年度から主力事業であるモゲチェック事業及びINVASE事業の双方でシステム開発等の先行投資を続けてきた結果、収益およびコストが改善いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

## ①モゲチェック事業

当連結会計期間におきましては、継続的なオンライン広告の強化・改善とメディア露出による集客拡大等のマーケティング施策により、モゲチェックサービスの集客数が約145万件増加（前期比33.3%増）し、ユーザー登録数が約1.3万件増加（前期比21.5%増）となりました。更に、2022年7月から開始したモゲチェックパートナー制度については、引き続き既存の住宅ローン事業者、保険代理店、不動産事業者などとの事業提携を通じて、それらの顧客に対してモゲチェックの利用を推進してきました。これにより潜在顧客層からの集客が増加していることで、売上収益の拡大に貢献しております。

## モゲチェックサービスの各種指標の推移

	2022年6月期（前々期）	2023年6月期（前期）	2024年6月期（当期）
集客数（件）	3,497,900	4,364,810	5,819,747
ユーザー登録数（件）	34,695	64,530	78,374

この結果、当連結会計年度における売上高、セグメント利益は前期比で成長しております。モゲチェック事業の業績は、売上高は1,434,747千円、セグメント利益は248,913千円となっております。

## ②INVASE事業

当連結会計年度におきましては、2023年10月にリリースしたアプリ「INVASE Pro」を中心に、引き続き複数の集客チャネルからの流入強化、セミナー開催等のマーケティング施策を行いました。一方で金利動向等の影響による不動産投資に係る検索ボリュームの減少等の影響により、バウチャー集客数及びバウチャー申込数は前期比で減少しております。子会社であるコンドミニウム・アセットマネジメント株式会社においては、着実に不動産仲介等による契約件数が増加しており、INVASE事業全体の収益性改善に寄与しております。会員登録数累計は1.1万件増加（前期比37.6%増）、物件の契約件数は111件増加（前期比81.0%増）となりました。

## INVASEサービスの各種指標の推移

	2022年6月期（前々期）	2023年6月期（前期）	2024年6月期（当期）
バウチャー集客数（件）	370,334	517,340	384,663
バウチャー申込数（件）	4,941	8,478	7,635
会員登録数累計（人）	18,193	30,966	42,619
物件の契約件数（件）	50	137	248

この結果、当連結会計年度における売上高は前期比で減少し、セグメント損失も拡大しております。INVASE事業の業績は、売上高は455,195千円、セグメント損失は99,425千円となっております。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は、1,889,942千円（前期比17.5%増）となり、利益面では、営業損失は110,789千円（前期は139,543千円の営業損失）、経常損失は144,470千円（前期は147,111千円の経常損失）、税金等調整前当期純損失は144,470千円（前期は147,111千円の税金等調整前当期純損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は121,571千円（前期は149,694千円親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ476,707千円増加し、2,421,030千円となりました。これは主に、現金及び預金が399,199千円増加、無形固定資産が46,472千円増加したことによるものです。

### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ395,321千円減少し、360,170千円となりました。これは主に、短期借入金が57,340千円減少、長期借入金が216,330千円減少、社債が150,000千円減少したことによるものです。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ872,028千円増加し、2,060,859千円となりました。これは、公募増資により資本金が496,800千円増加、資本剰余金が496,800千円増加、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が121,571千円減少したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ394,199千円増加し、1,871,801千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は70,837千円（前連結会計年度は62,188千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失144,470千円、減価償却費23,227千円、上場関連費用21,026千円、未払金の増加額16,227千円、未払費用の増加額20,121千円、未払法人税等（外形標準課税）の増加額21,813千円及び未払消費税等の減少額25,651千円によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は91,322千円（前連結会計年度は130,718千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7,940千円及び無形固定資産の取得による支出78,269千円によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は556,360千円（前連結会計年度は1,050,503千円の獲得）になりました。これは主に、長期借入金の返済による支出273,670千円及び株式の発行による収入988,764千円によるものです。

## (4) 今後の見通し

将来予測情報については、世界経済の不透明な先行きや日本国内における固定金利の上昇といった状況であるものの実質賃金の上昇の兆候がない状況下であるため、変動金利については引き続き、低金利で推移することが予測されます。そのため、住宅ローンの借入や借換需要は堅調に推移すると考えられます。

さらに、昨今の円安やインフレのもと、東京都内の区分マンションの価格は引き続き上昇志向にあることから、不動産投資の需要が高まると考えております。

このような事業環境の下、翌連結会計年度(2025年6月期)の連結業績は、売上高は2,397,369千円(前期比126.8%)、営業利益は69,462千円(前期は営業損失110,789千円)、経常利益は59,992千円(前期は経常損失144,470千円)、親会社株主に帰属する当期純利益は37,788千円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失121,571千円)を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,577,601	1,976,801
売掛金	253,730	246,874
前払費用	26,032	27,023
その他	6,166	9,963
貸倒引当金	△2,603	△1,105
流動資産合計	1,860,926	2,259,557
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,131	1,131
減価償却累計額	△405	△508
建物(純額)	725	622
工具、器具及び備品	15,266	22,991
減価償却累計額	△8,095	△12,382
工具、器具及び備品(純額)	7,171	10,608
有形固定資産合計	7,896	11,231
無形固定資産		
ソフトウェア	7,445	95,788
ソフトウェア仮勘定	41,871	—
無形固定資産合計	49,316	95,788
投資その他の資産		
敷金及び保証金	23,159	23,271
繰延税金資産	—	25,479
投資その他の資産合計	23,159	48,750
固定資産合計	80,372	155,770
繰延資産		
株式交付費	3,023	5,702
繰延資産合計	3,023	5,702
資産合計	1,944,322	2,421,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	65,670	8,330
1年内償還予定の社債	150,000	—
未払金	125,572	133,267
未払費用	43,850	72,148
未払法人税等	2,580	24,393
未払消費税等	40,336	14,685
預り金	11,152	5,970
契約負債	—	1,375
流動負債合計	439,161	260,170
固定負債		
長期借入金	316,330	100,000
固定負債合計	316,330	100,000
負債合計	755,491	360,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	596,800
資本剰余金	2,435,479	2,932,279
利益剰余金	△1,346,648	△1,468,219
株主資本合計	1,188,830	2,060,859
純資産合計	1,188,830	2,060,859
負債純資産合計	1,944,322	2,421,030

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,607,947	1,889,942
売上原価	418,622	344,704
売上総利益	1,189,325	1,545,238
販売費及び一般管理費	1,328,868	1,656,027
営業損失(△)	△139,543	△110,789
営業外収益		
受取利息	17	60
貸倒引当金戻入額	—	1,498
ポイント収入	1,958	90
受取賃貸料	4,500	—
雑収入	128	826
営業外収益合計	6,606	2,476
営業外費用		
支払利息	5,485	7,494
社債利息	4,199	3,141
株式交付費償却	3,334	2,686
雑損失	1,154	1,809
上場関連費用	—	21,026
営業外費用合計	14,174	36,157
経常損失(△)	△147,111	△144,470
税金等調整前当期純損失(△)	△147,111	△144,470
法人税、住民税及び事業税	2,582	2,580
法人税等調整額	—	△25,479
法人税等合計	2,582	△22,899
当期純損失(△)	△149,694	△121,571
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△149,694	△121,571

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純損失 (△)	△149,694	△121,571
包括利益	△149,694	△121,571
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△149,694	△121,571
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	100,000	1,565,880	△1,196,953	468,927	468,927
当期変動額					
新株の発行	434,799	434,799	—	869,598	869,598
減資	△434,799	434,799	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△149,694	△149,694	△149,694
当期変動額合計	—	869,598	△149,694	719,903	719,903
当期末残高	100,000	2,435,479	△1,346,648	1,188,830	1,188,830

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	100,000	2,435,479	△1,346,648	1,188,830	1,188,830
当期変動額					
新株の発行	496,800	496,800	—	993,600	993,600
減資	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△121,571	△121,571	△121,571
当期変動額合計	496,800	496,800	△121,571	872,028	872,028
当期末残高	596,800	2,932,279	△1,468,219	2,060,859	2,060,859

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△147,111	△144,470
減価償却費	7,063	23,227
上場関連費用	—	21,026
株式交付費償却	3,334	2,686
支払利息	5,485	7,494
社債利息	4,199	3,141
受取利息	△17	△60
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,424	△1,498
売上債権の増減額 (△は増加)	△117,670	6,855
販売用不動産の増減額 (△は増加)	200,174	—
前払費用の増減額 (△は増加)	△7,440	△1,456
未払金の増減額 (△は減少)	50,617	16,227
未払費用の増減額 (△は減少)	11,439	20,121
預り金の増減額 (△は減少)	△511	△5,181
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	—	21,813
未払消費税等の増減額 (△は減少)	40,336	△25,651
未収消費税等の増減額 (△は増加)	16,894	△4,521
その他	5,274	2,108
小計	73,492	△58,139
利息の受取額	17	60
利息の支払額	△10,151	△10,169
法人税等の支払額	△1,170	△2,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,188	△70,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△5,000
有形固定資産の取得による支出	△3,982	△7,940
無形固定資産の取得による支出	△28,872	△78,269
敷金及び保証金の差入による支出	△7,418	△7,330
敷金及び保証金の回収による収入	9,553	7,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,718	△91,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	—
長期借入金の返済による支出	△18,000	△273,670
長期借入れによる収入	350,000	—
社債の償還による支出	—	△150,000
上場関連費用の支出	—	△8,734
株式の発行による収入	868,503	988,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,050,503	556,360
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	981,973	394,199
現金及び現金同等物の期首残高	495,627	1,477,601
現金及び現金同等物の期末残高	1,477,601	1,871,801

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	モゲチェック 事業	INVASE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,000,373	607,574	1,607,947	—	1,607,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,000,373	607,574	1,607,947	—	1,607,947
セグメント利益又は損失(△)	128,862	△82,013	46,849	△186,392	△139,543
セグメント資産	246,942	257,352	504,294	1,440,028	1,944,322
その他の項目					
減価償却費	3,117	2,078	5,195	1,867	7,063
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	20,919	22,570	43,489	2,580	46,070

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、グループ共通のコーポレート業務等に係る一般管理費です。

セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産です。

減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社的な固定資産にかかる減価償却費です。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社的な固定資産の増加額です。

2 セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業損失(△)と一致しています。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	モゲチェック 事業	INVASE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,434,747	455,195	1,889,942	—	1,889,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,434,747	455,195	1,889,942	—	1,889,942
セグメント利益又は損失(△)	248,913	△99,425	149,488	△260,277	△110,789
セグメント資産	263,146	189,743	452,889	1,968,140	2,421,030
その他の項目					
減価償却費	10,564	9,756	20,321	2,906	23,227
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	28,010	40,619	68,629	4,685	73,315

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、グループ共通のコーポレート業務等に係る一般管理費です。

セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産です。

減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社的な固定資産にかかる減価償却費です。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社的な固定資産の増加額です。

2 セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業損失(△)と一致しています。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	△891.26円	227.15円
1株当たり当期純損失(△)	△24.72円	△18.86円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△149,694	△121,571
普通株主(普通株主と同等の株主を含む)に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式(普通株式と同等の株式を含む)に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△149,694	△121,571
普通株式(普通株式と同等の株式を含む)の期中平均株式数(株)	6,056,400	6,446,573
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権 8種類 (新株予約権 3,131個)	新株予約権 9種類 (新株予約権 3,156個)

(注) 1. 優先株式は、剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

2. 当社は、2024年3月22日付けで普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純損失を算定しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。